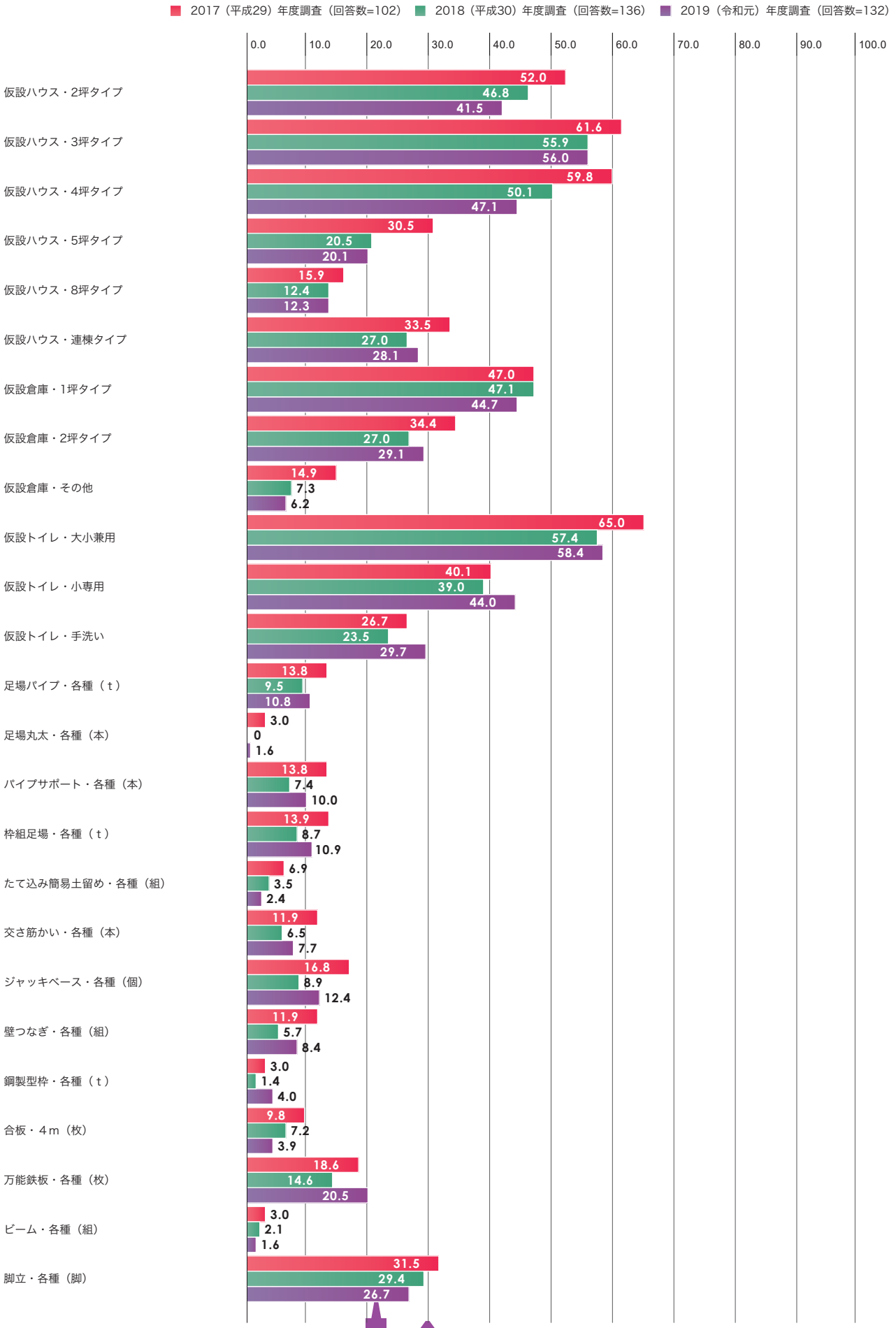
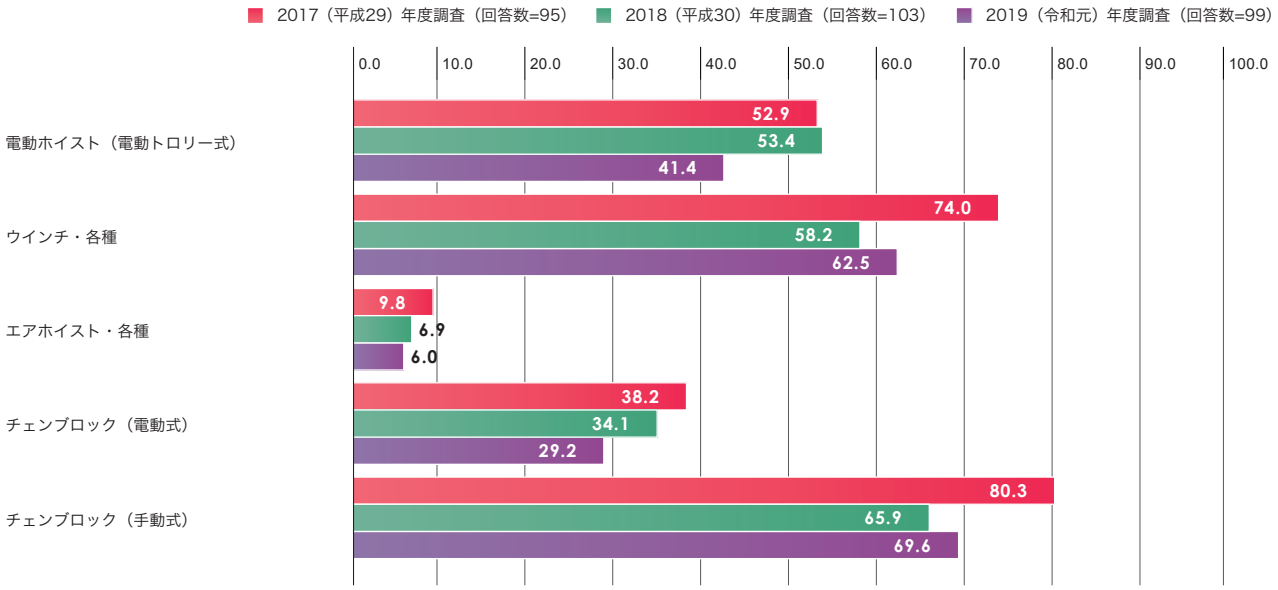
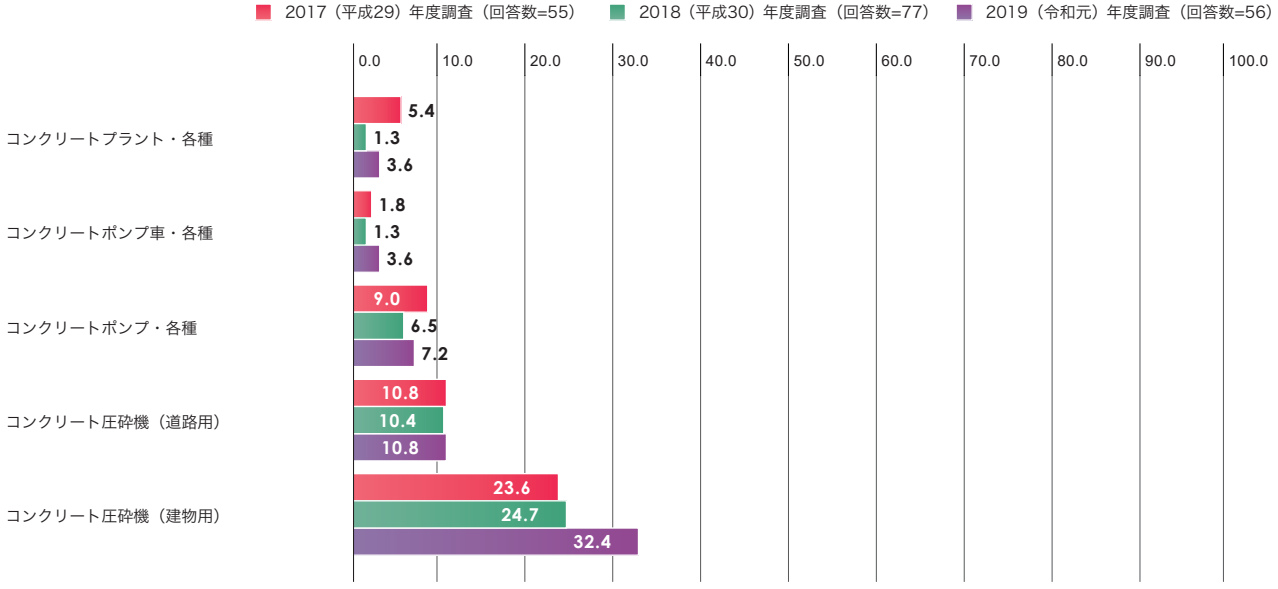
グラフ 31　P.軽仮設材保有状況　（単位：%　※有回答絞り、複数回答）



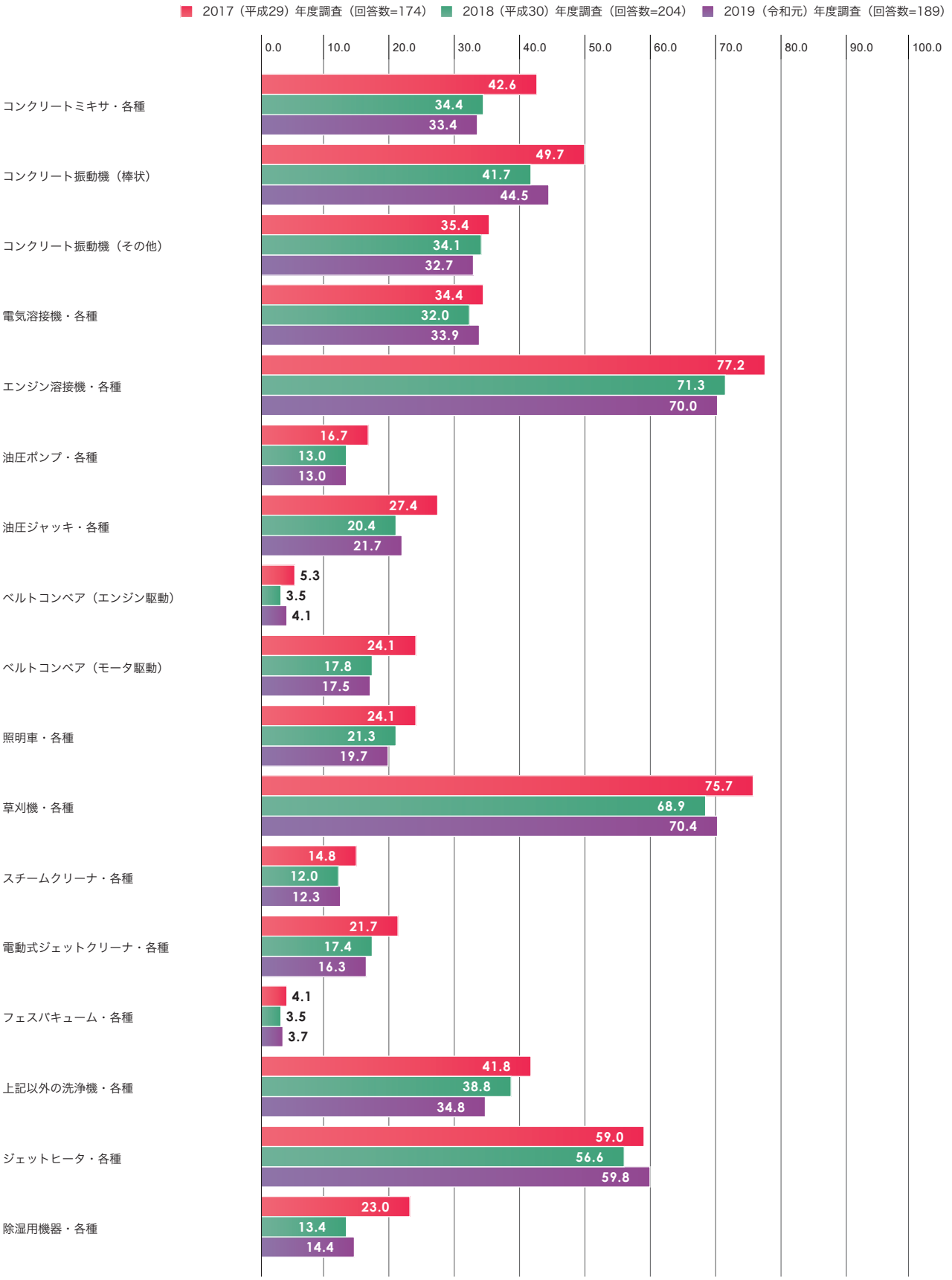
グラフ 32　Q.ウインチ類保有状況　（単位：%　※有回答絞り、複数回答）



グラフ 33　R.コンクリート機械保有状況　（単位：%　※有回答絞り、複数回答）



グラフ 34　S.その他の機器保有状況　（単位：%　※有回答絞り、複数回答）

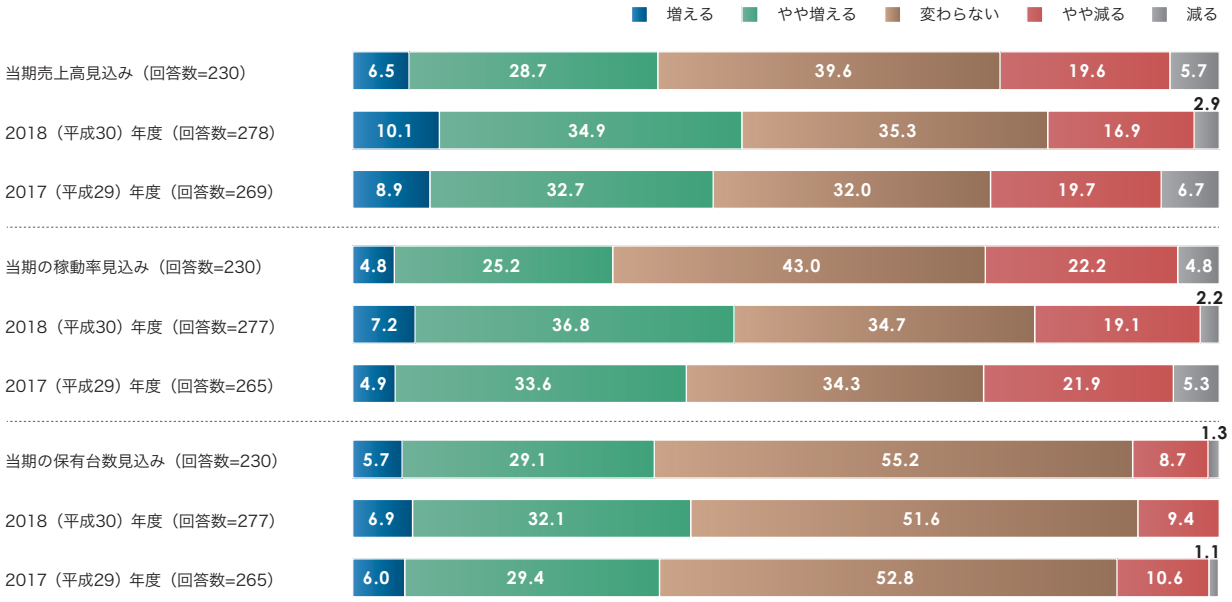


（5）業況感

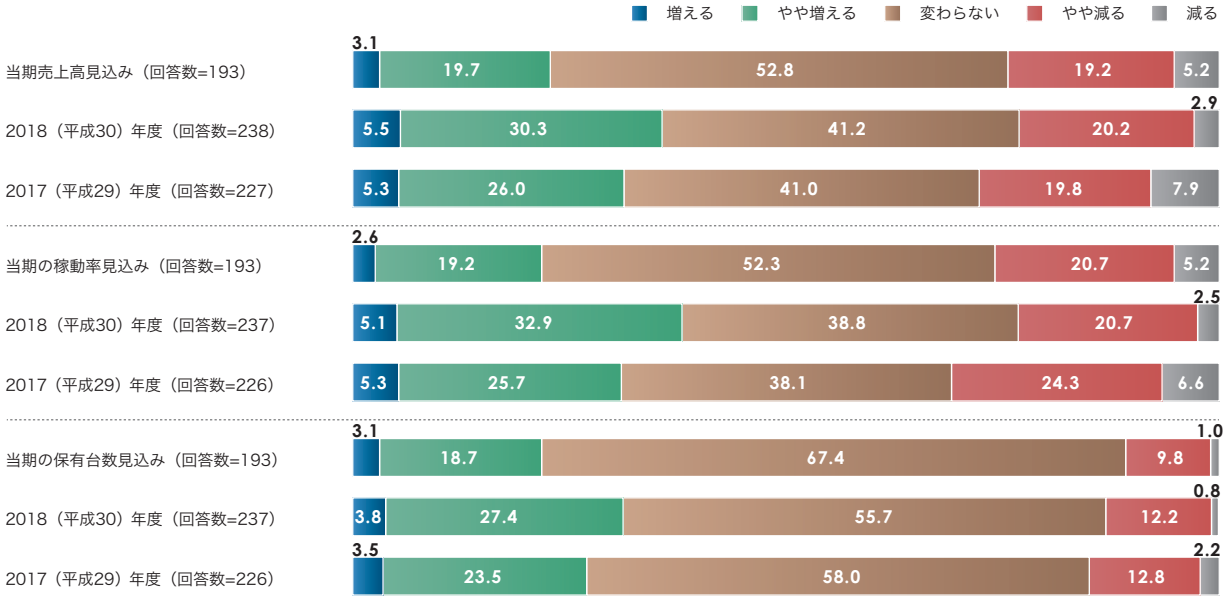
レンタル機材全体、重機、小型機械およびその他機材について、調査を実施した2019年7月から9月時点での、当期の売上高・稼動率・保有台数の見込みについて確認した結果が以下である。

レンタル機材全体に対する当期売上高は「増える」「やや増える」の合計が35.2%、「やや減る」「減る」の合計が25.3%であった。当期稼働率は同じく増える合計が30.0%、減る合計が27.0%、当期保有台数は増える合計が34.8%、減る合計が10.0%で、売上高・稼動率・保有台数いずれも昨年調査から減少傾向であった。（グラフ35～グラフ38）

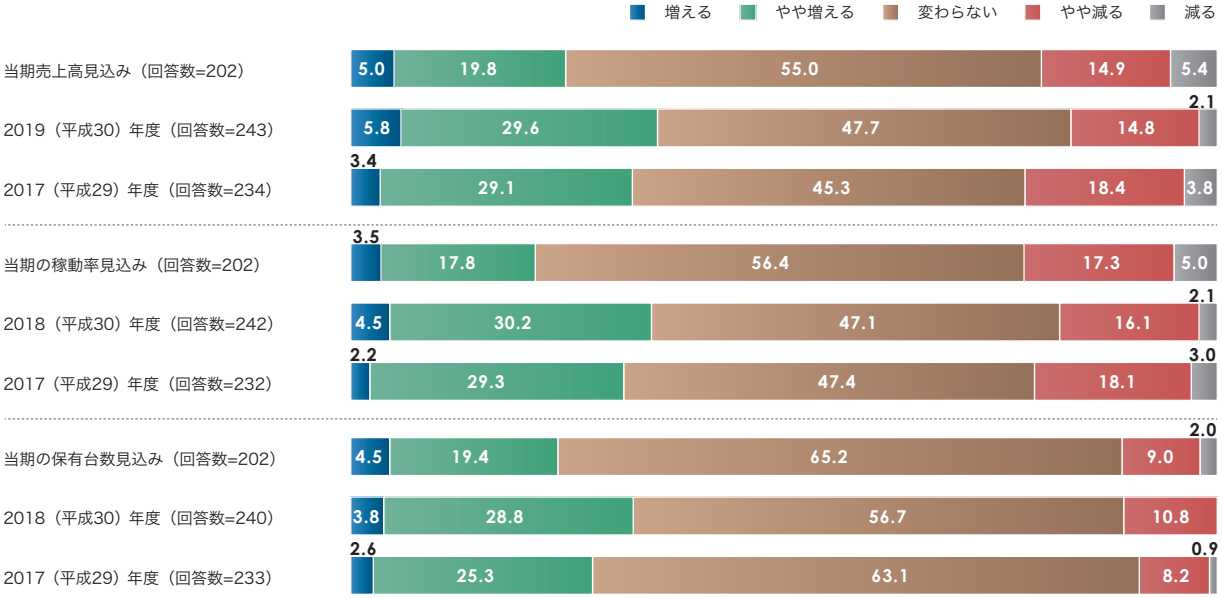
グラフ 35　レンタル機材全体　（単位：%　※有回答絞り）



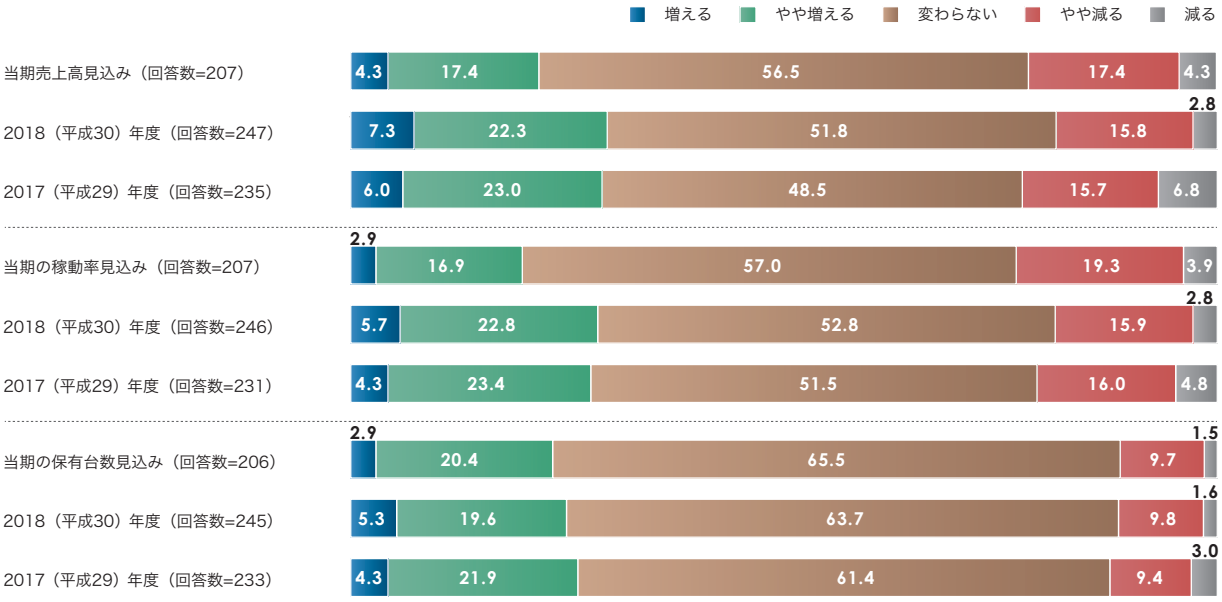
グラフ 36　重機　（単位：%　※有回答絞り）



グラフ 37 小型機械 （単位：％　※有回答絞り）



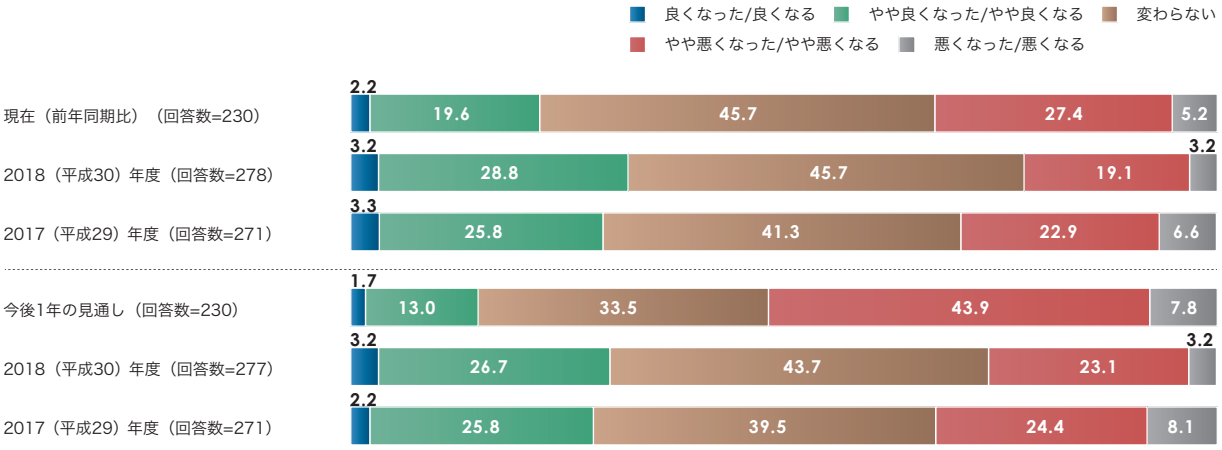
グラフ 38 その他機材 （単位：％　※有回答絞り）



調査の中では調査を実施した2019年7月時点の日本経済全体や自社の業況、雇用状況の動向について確認している。前年同期と比べた日本経済の状況は「良くなった」「やや良くなった」の合計が21.8%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の合計32.6%を大きく下回った。

今後1年の日本経済の見通しでは「良くなった」「やや良くなった」の合計が14.7%、「やや悪くなった」「悪くなった」の合計が51.7%で、昨年調査と比較して日本経済の景況感についての評価は大幅に悪化の傾向にある。（グラフ39）

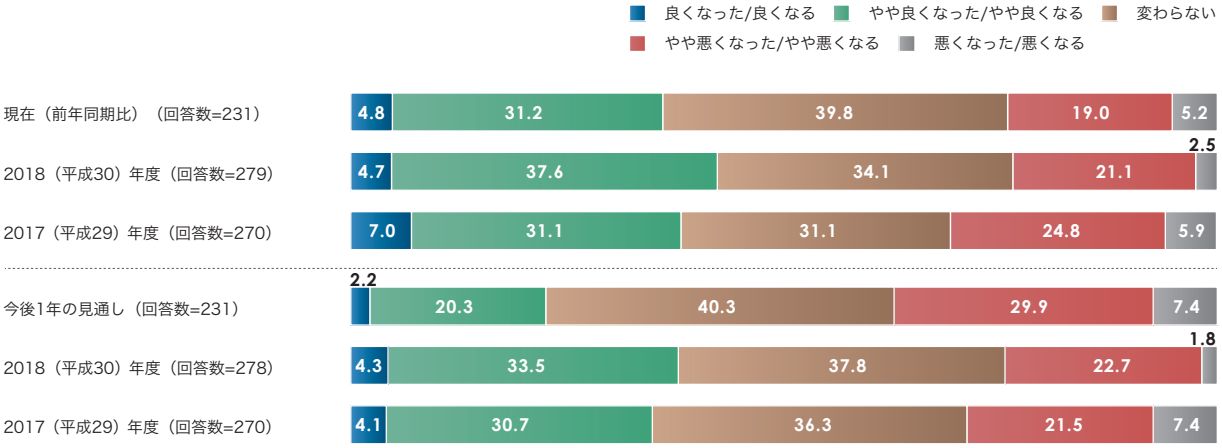
グラフ 39 日本経済の景況感 （単位：% ※有回答絞り）



前年同期と比べた現在の自社の業況については「良くなった」「やや良くなった」の合計（36.0%）が「やや悪くなった」「悪くなった」の合計（24.2%）を上回っている。

一方、今後1年の見通しでは「良くなる」「やや良くなる」の合計が22.5%、「やや悪くなる」「悪くなる」の合計が37.3%で、厳しい見方となっている。（グラフ40）

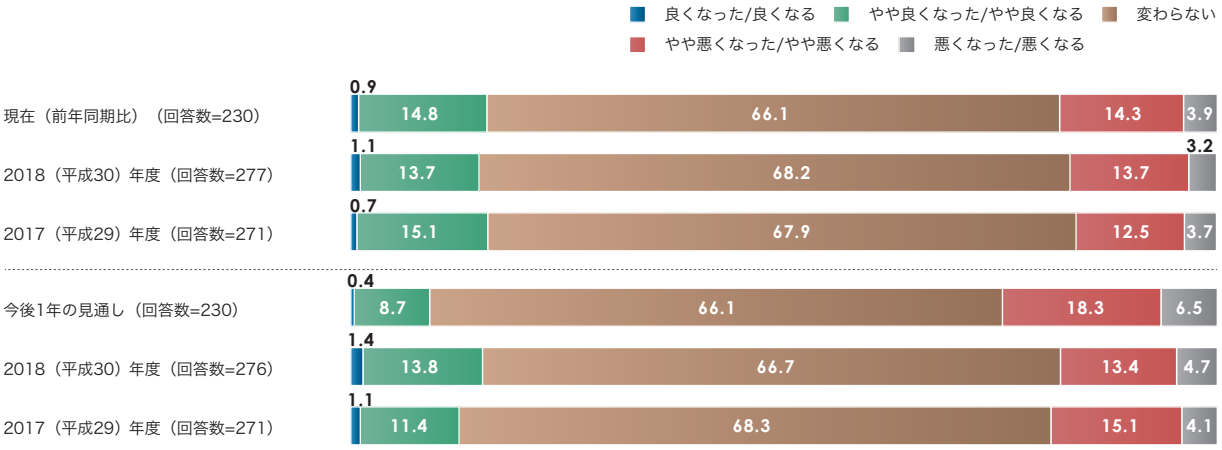
グラフ 40 貴社の業況 （単位：% ※有回答絞り）



自社の雇用状況について、前年同期と比べた現状については「良くなった」「やや良くなった」の合計、「やや悪くなった」「悪くなった」の合計ともに昨年調査と比べてわずかに上昇した。

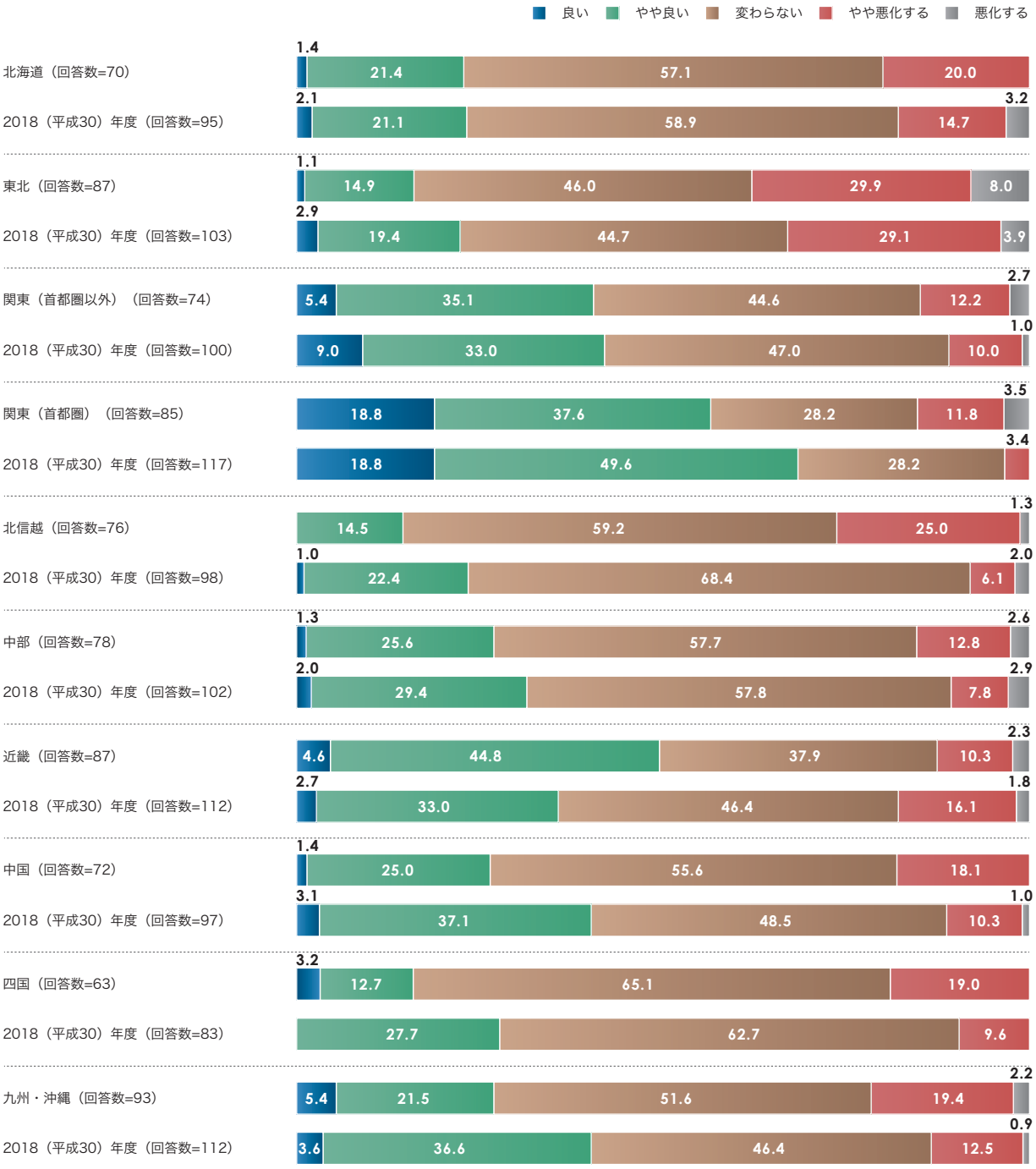
今後1年の見通しについては「良くなった」「やや良くなった」の合計が約6ポイント減少していると同時に「やや悪くなった」「悪くなった」の合計が約7ポイント上昇しており、厳しい見方となっている。（グラフ41）

グラフ 41　貴社の雇用状況　（単位：％　※有回答絞り）



地域別の調査時点での景況感についてみると、「良い」「やや良い」の合計が関東（首都圏）で56.4%となり、唯一半数を超えた。一方、悪いとする割合が最も高いのが東北で、「やや悪い」「悪い」の合計が37.9%だった。昨年調査と比較して「良い」「やや良い」の合計が昨年より増加しているのは近畿のみで、他の地域はいずれも減少傾向。（グラフ42）

グラフ 42　地域別での現時点での景況感　（単位：%　※有回答絞り）



【免責条項】
本報告書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任において
ご使用下さい。
本報告書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事
態が生じたとしても、一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。